



大きな志を抱き
挑戦し続ける人づくり

平成26年4月開校

施設一体型小中一貫校

沼津市立 静浦小中一貫学校

本校が目指す教育

たくましく生きるための健康や体力、豊かな人間性を身に付けた子どもは、様々な人たちとの交流や体験活動を通して、大きな志（「社会のために役立とう」という目標）を育むことにより、主体的に学び、常に高い目標に挑戦していきます。

このような子どもを育むことを目指して学校教育目標を設定するとともに、9年間で4-3-2の3段階に区切り、「9年間の連続性」「ことば」「地域」を教育活動のあらゆる部分で重視していきます。

学校教育目標 「大きな志を抱き挑戦し続ける人づくり」

大志部8・9年 大志を抱き 自分を信じてやり抜くことで 自己実現を果たす子ども

立志部5～7年 夢を描き 意欲的に取り組むことで 目標を達成する子ども

初志部1～4年 あこがれを抱き 繰り返しがんばり めあてを達成する子ども

9年間の一貫した指導で育む力と態度

未来をデザインする力

体験・交流・学習・評価・カウンセリングを繰り返すことにより、未来をデザインする力（一人一人の子どもが目指す将来の生き方と現状を比べ、自ら目標を立て、大きな志を抱いていく力）を育みます。

未来を実現する知

高い専門性をもつ教科担任による、子どもが自ら追究する授業と、学力の確実な定着を図るための様々な取組により、未来を実現する知を育みます。

志

未来に挑戦するための体・徳

健康・体力と豊かな人間性は、学習の大切な基盤です。
立ちはだかる壁に向かって、くじけず、最後までやり抜けるように、未来に挑戦するための体・徳を育みます。

重視する教育活動

- 「9年間の連続性」を生かした教育活動
- 「ことば」の活用を大切にした学習活動や異年齢の交流活動
- 「地域」における豊かな体験活動や交流活動

「シラバス」の活用

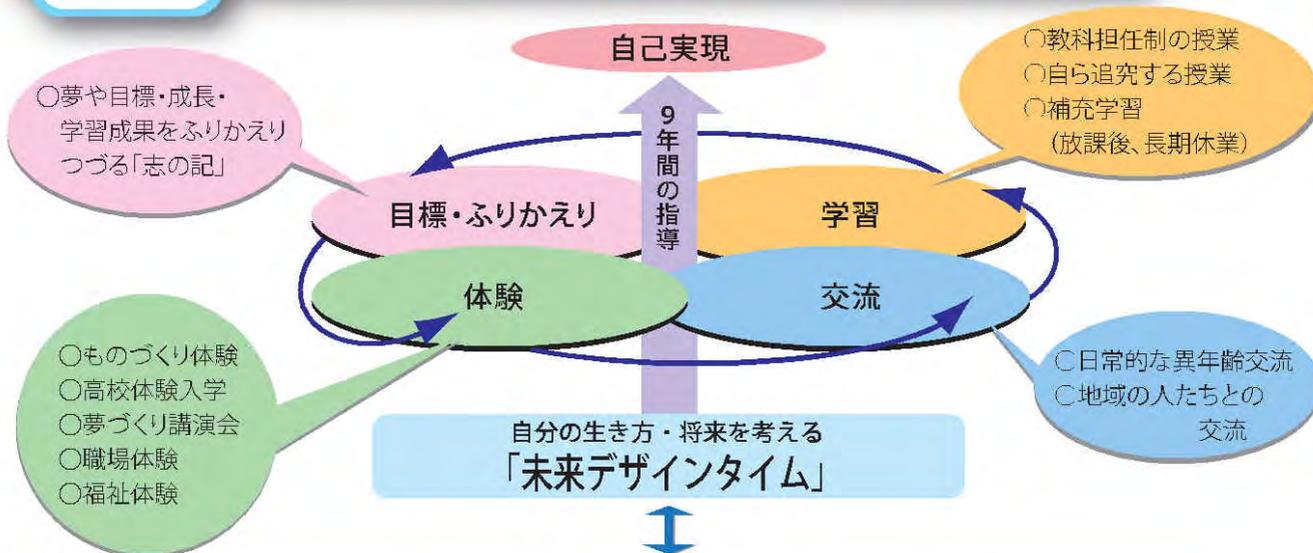
小中一貫教育を推進するためには、小・中学校から集まった教職員が目標を共有し、9年間の指導方針をそろえることが大変重要です。

そのために、本校では、詳細な指導指針である「シラバス」を作成・活用していきます。

未来をデザインする力を育む

生き方を考える

自己の「未来」と「学び」を結ぶ



「キャリアカウンセリング」との連携

一人一人のめあてや目標の設定、進路（職業、進学）選択について、口ごもからの支援や相談、指導を行います。将来の姿、進路選択についての三者面談に生かします。

主体性を育む

感動にあふれる一貫校ならではの学校行事

初志部

- 全校で歓迎する入学式
- キッズニアや博物館への体験学習（※H26～）
- 10歳の区切りを祝う初志部修了式

立志部

- たくましさを身に付ける自然体験教室（5日程度※H27～）
- 厳しさを乗り越える感動の職場体験活動（5日程度※H27～）
- 大人への入口に立つ立志部修了式

大志部

- 知的好奇心を刺激し、未来をひらく大学体験
- 九州・沖縄方面への修学旅行（4日程度※H29～）
- 全校と地域で喜び祝う卒業式



自信を育む

異年齢交流で育む「自尊感情」

初志部

- 上級生に優しくされることで、あこがれをもつ体験
- 1～4年生で構成するクラブ活動
- 4年生での初志部リーダー経験

立志部

- 上級生に進んで協力し、活動を工夫する体験
- 5～7年生で構成する委員会活動
- 7年生での立志部リーダー経験

大志部

- 下級生の世話をすることで、信頼され自信をもつ体験
- 8・9年生で構成する全校行事の実行委員会
- 全校のリーダー経験



未来を実現する知を育む

シラバスによる一貫性のある学習指導

4年生・7年生・9年生の目標と重点指導事項、指導方法を示すことで、9年間一貫した学習指導を行います。「ことば」を活用する力を付ける指導の在り方、学校図書館の利用方法等も示します。

ことばの力を育む

学校図書館の活用

具体的な取組

- 本が大好きな子の育成
- 「9年間で1,000冊」の読書目標
- 読書の幅を広げる読み聞かせコーナーの活用
- 図書館を活用した授業の推進
- 図書館での補充学習、個人学習の推進
- 進路資料を生かした進路学習の実施



自ら学ぶ意欲を育む

「確かな学力」を育む学習指導システム

1 子どもが自ら学ぶ

- 自ら問いを追究する授業
- 教科担任制による充実した指導
- 基礎的・基本的な内容の理解
- 家庭での学習習慣の定着

3 補充学習・定着の確認

- 学生ボランティアや地域人材を活用した補充学習の実施
- 確実な理解・定着を確認して次年度へ進級

2 学習状況をとらえ教育相談へ活用

- 初志部：期末テスト実施(国語科・算数科)
- 立志部・大志部：中間・期末テスト実施
- 全学年：実力テスト実施
- 授業での表れやテスト結果を参考に学習方法のアドバイス等を実施



社会性を育む

地域から学び、貢献する「静浦学習」

初志部

- 静浦の自然の中で、ひと・もの・ことと触れ合う体験学習(学習例)…淡島見学、漁船乗船体験、海の生物の飼育、アマモ栽培と移植

立志部

- 静浦の産業・文化・観光をテーマにした学習(学習例)…静浦の漁具・産業の調査、静浦の観光調査、職場体験活動

大志部

- 静浦の活性化について、地域と共に考える学習(学習例)…静浦地区の課題・解決のアイデアの検討、地域活性化を实践する学習



※「静浦学習」…生活科と総合的な学習の時間で行う「静浦」を通して学びを広げる学習

未来に挑戦するための体・徳を育む

小中一貫校だから可能になる継続的な生徒指導

9年生の姿を手本に目標を高くもち、挑戦する体験を多く設定します。
つまづいた時には適切な支援を行い、現状を突破するチャレンジ精神とやり抜く意志の強さを育みます。
思春期の入口である立志部を中心に、全教職員で見守り、いじめ・不登校の未然防止・早期発見を図る組織的な指導を行います。

心と体を
支える

9年間の一貫した支援体制

子どもたちの心身の成長を支える充実した施設

- 1階の保健室・相談室・スクールカウンセラー室の連携
- 相談者に配慮したスクールカウンセラー室
- 屋外の事故や緊急車両に即応できる保健室
- 校舎・グラウンド・屋内運動施設にAEDを設置
- 子どもの安全を守る防犯カメラ・防犯ベルの設置

小・中学校2校分の充実したスタッフ

- 養護教諭、スクールカウンセラー、心の教室相談員、いきいきスタッフ



体力向上を
図る

運動意欲の伸長と運動習慣の定着

様々な体格の子どもに対応した施設

屋外 運動施設

- プレイグラウンド (新設) 主に初志部が利用する遊具を設置
- グラウンド (新設) 200mトラック・直線100m・テニスコート2面・部室

屋内 運動施設

- 体育館 (既設) 上下可動式バスケットゴールを完備
- 武道場 (新設) 武道の授業・部活・集会等、多目的に使用

水泳 施設

- 大海を航海する船をイメージした外観
- 大プール (新設) 25m×6コース
- 小プール (新設) 1・2年生の体格に応じた水深で設計



興味関心を
広げる

自ら選び、挑戦する様々な活動

初志部

- プレイグラウンドで遊びながら基礎体力の向上
- 昔の遊び、茶道等を体験する1～4年のクラブ活動

立志部

- 5・6年生での部活動体験の実施
- 7年生から部活動への正式入部

大志部

- 中心メンバーとなり仲間と高め合う部活動
- 学校代表として各種大会やコンクールに参加

部活動

- サッカー部、野球部、女子ソフトテニス部、女子バスケットボール部、卓球部、吹奏楽部、文化芸術部、総合部(予定)



新校舎の紹介

「ことば」の活用を大切にしたい学習活動を進めるため、学校図書館を校舎の中心に据えるとともに、施設一体型の小中一貫校でしか実現できない日常的な異年齢交流等を促進するため、多様な交流スペースを創出しています。また、防災対策を重視し、地震や津波に強い構造と防災機能を備えています。

学習図書館



「知」を育む場となる学校図書館は、校舎中央の2～4階の3層階に配置します。階ごとに配架する図書の種類や役割を変え、専用の内部階段により移動でき、空調も完備します。校舎のどの場所においてもすぐに利用可能な環境を整えています。

- 2階** 全学年を対象とした読み物を中心に配架、立ち寄りやすいメインエントランス前に配置、低学年用読み聞かせコーナー併設
- 3階** 各教科の調べ学習用参考図書を中心に配架、パソコンコーナーと一体的にメディアセンターとして機能
- 4階** 進路情報や地域関連の資料を中心に配架、個別学習コーナーを設置

1階の特長

- 食育を推進するため、調理の様子を見学できる自校方式の給食室を設置します。
- 展示ギャラリーを設け、統合前の学校の記念品などを展示します。
- 保健室・相談室・スクールカウンセラー室を隣接させ、子どもの心身ケアに努めます。
- エレベータを設け、給食や荷物の運搬などに使用します。多目的トイレも設置し、バリアフリーにも配慮しています。
- 放課後児童クラブを併設し、下校後の子どもの居場所も確保します。



2階の特長

- 校舎のエントランス階となり、9学年が同じ場所から出入りすることで、自然な交流を促します。
- 体育館・プールへの渡り廊下を設け、災害時の避難経路にも使用します。
- 小中の教職員が一緒に職員室で情報を共有し、子どもの成長を見守ります。
- 職員室からはメインエントランスとグラウンドを目視でき、事故や不審者の侵入等に迅速対応します。
- 普通教室は日当たりのよい南面を中心に、2～4階に配置します。常設のプロジェクト・パソコンを使用して、より分かりやすい授業を行います。



建築概要

構造…鉄筋コンクリート造
 階数・高さ…4階建 19.25m
 規模…建築面積 2,874 m² 延床面積 8,661 m²
 (※普通教室の広さ 7.8m×8.5m)



交流スペース

異年齢交流は下級生と上級生がお互いの存在を意識することで、より高い目標に向かう志と主体性を育み、地域交流は様々な人との関わりや体験学習を通して社会性を育みます。

このような交流や体験学習を促す仕掛けとして、多様な交流スペースを設けています。



**コモン
スペース**

様々な教育活動に対応した2~4階の普通教室前の広い廊下、単独での使用はもちろん普通教室との間の可動間仕切りを開放して一体的に使用可能

**ランチ
ルーム**

最上階の4階北西角に設置、約100席を備えて給食時の交流や集会・研修会などで使用

3階の特長

- 隣合う学校図書館とパソコンコーナーで構成するメディアセンターでは、調べ学習等で豊富な情報を得られます。
- 2・3階の学校図書館内には、それぞれ1クラス分の机・椅子を備えており、授業でも日常的に使用します。
- 初志部からの教科担任制に対応するため、特別教室の充実を図っています。
- 間仕切りによって様々な授業形態に対応できる少人数教室を設けています。
- テラスや吹抜けを多用し、風通しのよい開放感ある明るい空間を創出します。

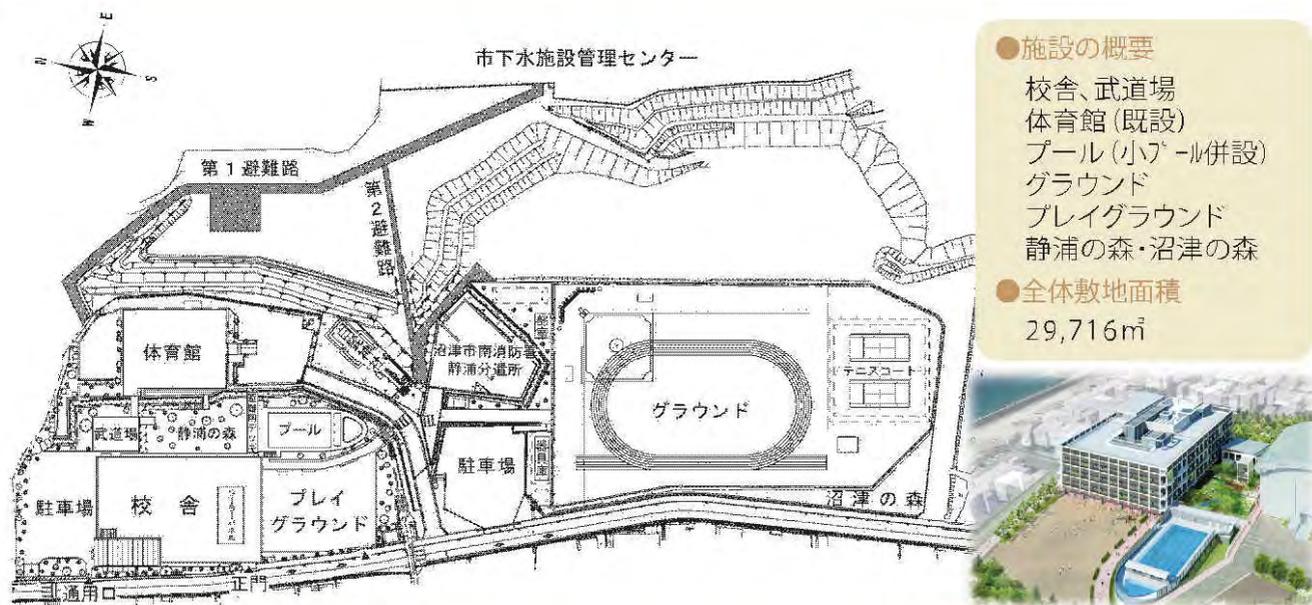


4階の特長

- ランチルームからは富士山・駿河湾・淡島などの素晴らしい景色を望めます。
- 高い天井で開放感のある空間は、給食時の交流のほか、様々な交流の場として使用します。
- 家庭科調理室との間の可動間仕切りを開放して、調理したものを直接ランチルームに運びこむことができます。



全体配置図



- 施設の概要
 - 校舎、武道場
 - 体育館(既設)
 - プール(小・中併設)
 - グラウンド
 - プレイグラウンド
 - 静浦の森・沼津の森
- 全体敷地面積
 - 29,716㎡



地震・津波などの災害への備え

学校の立地場所が海に近いことから、地震・津波などの災害に備えて、様々な対策を講じています。

- 校舎は強固な鉄筋コンクリート造、4階建による高層化（屋上床: 海拔19.25m）
- 校舎の構造を柱と梁で支える純ラーメン構造とし津波圧力による倒壊リスクを軽減
- 子どもの一時的な避難生活に備え、屋上に食料や資機材等を備蓄する防災倉庫を設置
- 地域住民の避難も想定し屋外避難階段を設置、屋上には約1,000人が避難できるスペースを確保
- 自立式の太陽光発電設備を設置し、短期的な避難生活場所として想定するランチルームへ電力を供給
- 災害後の迅速な機能回復に備え、屋上に電気・給水設備を設置
- 防災環境保全林となる沼津の森の植樹・育成
- 学校敷地東側の市下水道施設管理センター（海拔約20m）に至る複数の避難路を確保 ほか



◀ 第2避難路



◀ 沼津の森づくり



第1避難路

施設面での対策とともに、防災教育・防犯教育・安全教育を一体化して実施します。危機管理マニュアルを作成し、学校の全教育活動を通じた計画的・系統的な指導により、自分が置かれた状況を的確に判断し、適切な決断や行動の選択ができる力や自他の生命を尊重することができる力を子ども自らが育ていけるようにします。

発行元・お問合せ先 沼津市教育委員会事務局 教育企画室
 住所: 〒410-8601 沼津市御幸町16-1
 電話: 055-934-4821 FAX: 055-931-8977 E-mail: kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

発行日: 平成25年3月 ※本内容は発行日時点での計画であり、開校までに変更の可能性があります。 ※掲載写真はイメージです。